

がるんたーふ 三太郎の福博見聞帖

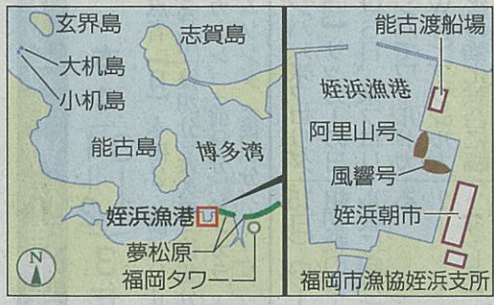


ヤップ夫妻の美しい福岡

「海と山が身近な福岡が大好き」。オランダ人のヤップ・モルダー(58)マライカ夫妻は通算17年間、福岡市西区姪浜漁港のヨット「阿里山」号で船上生活。8年前、日本の永住権を得た。2人がヨットで訪れた55カ国の港町で一番気に入った福岡。理由は「すべてが美しいから」。

「海と山はどこにでもあろうもん。博多湾は汚れとうばい」と口にしうものなら、ヤップさんはすくさま否定、「福岡ほどの黒々とした青い海、しっとりした緑の山は他所にはありません!」。

ヤップ夫妻は1日午前5時



半から「姪浜朝市」で漁船住栄丸の朝市を手伝った。「仕事じゃない、楽しい時間。姪浜の漁師さんに「人間」を学んでいます」。「よっしゃ」「いらっしゃい」「ありがと」。ヤップさんの掛け声は板についている。タイやタチウオが35分で売り切れた。

同日午後2時から、KLMオランダ航空乗務員9人を乗せた「福岡サンセットセーリング・風響」号(双胴船ヨット、ヤップ船長)が博多湾を周遊、早良区百道浜の福岡タワー、「夢松原」を背景に記念撮影した。雷山や井原山の山並みが見えると山が大好きなヤップ船長が「美しい海と山の福岡」を語る。夕日は見られなかったが、大阪から娘(2)と初参加したKLM乗務員平岡侑子さんは「サザエさんの海、万葉の海、博多湾

が大好きになりました」。船上の夕食はマライカ夫人が腕を振ったためんたいコースパゲティ。能古小など3校の英語教師を務め、野鳥撮影が趣味。耕運機が掘り起こした土から飛び出たカエルを横取りするアマサギの写真は傑作である。

ヤップさんが操船と案内役。ユーモアがある。「玄界島の左手に島影が見えます。島の名は何でしょう? 分からないですか。クジラ島です!」。遠くから見ると黒い玄武岩でなる、二つの大小島の形はまるでクジラだ。ヤップ夫妻に終日つきあつて初めて「福岡の美しさ」の中身が、「自然がきれい」「街が安全」「人が優しい」の3点だとうやく私は合点した。(川上弘文)



博多湾クルーズを楽しむKLMオランダ航空の乗務員たち = 1日、福岡市早良区の「夢松原」沖
ヤップ・モルダー船長(右)とマライカ夫人 = 愛艇のヨット「阿里山」号上で



メモ
1) 0025(平日)
姪浜朝市 毎週日曜午前5時半から。福岡市西区愛宕浜4の49の1、福岡市漁協姪浜支所前092(888